

# 安全対策工事紹介シリーズ

## 非常用ディーゼル発電設備の火山灰対策について

2020年 11月26日

東京電力ホールディングス株式会社

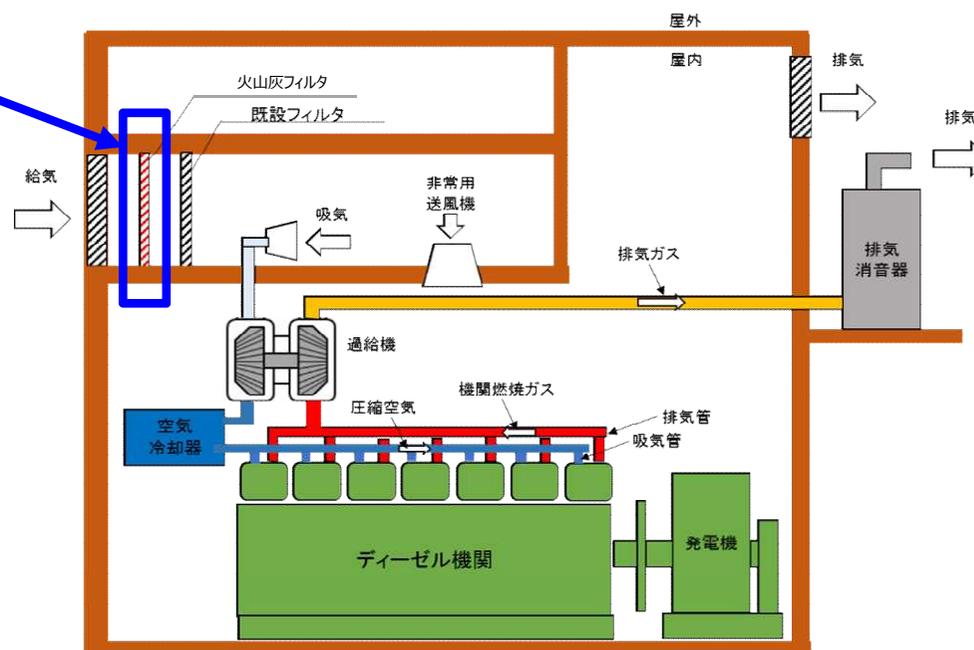
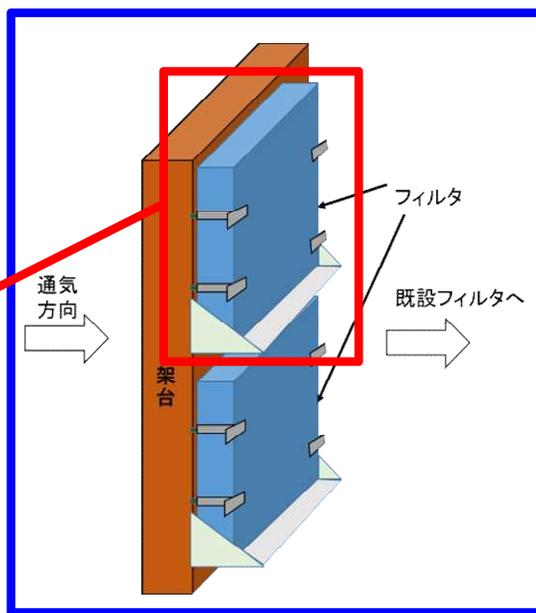
柏崎刈羽原子力発電所

**TEPCO**

- 火山噴火による降灰時、非常用ディーゼル発電設備が火山灰で目詰まりを起こし、動作不能になることを防ぐため、給気口にフィルタを設置する必要がある。
- そのため、フィルタ架台を設置するとともに、フィルタを配備（12月完了予定）。
- 火山噴火による降灰時には、緊急時対策要員がフィルタを架台に取り付ける。



火山灰フィルタ



火山灰フィルタの設置イメージ

【2020年11月 設置状況】



火山灰フィルタ設置架台

- 非常用ディーゼル発電設備のA系、B系、C系※の全てに設置（44枚／系列）。
- ※C系は自主対策として設置

項目	内容
設置場所	原子炉建屋 3階
大きさ	縦：610mm 横：610mm 幅：150mm
重量	約12kg
材質	ステンレス材
特徴	清掃性が容易であり、フィルタに火山灰が付着しても、取り外し清掃することで再利用が可能。